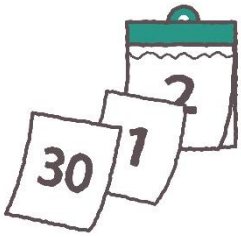
石島会計メモ

２０２３年９月号

中央区日本橋本石町 4-5-12
友泉本石町ビル３階
石島公認会計士事務所
(03)3275-1311
発行責任者　石島慎二郎

10 月から変わること

いろいろと変わる月



年度の折り返しである 10 月は例年変更が多いですが、今年も一部の飲食料品の値上げ、最低賃金の引上げなど、個人にとっても経営者にとっても気になるものが多くあります。今回は、税務関連で 10 月以降に変化するものを取り上げます。

なんといってもインボイス制度開始

税務において一番の大きな動きとしては、本紙でも何度も取り上げているインボイス制度が 10 月 1 日よりいよいよ開始されるということです。

今回は細かい点には触れませんが、売手側は請求書の体裁をしっかりと整えて顧客に提供しなければなりませんし、買い手側も受け取った領収書等がインボイスになっているかどうか確認しなければなりませんから、インボイス対象者の事務処理は確実に増大してしまうでしょう。

事細かにすべて対応しようとすると大変ですが、少なくとも制度の内容を知ったうえで、自社の実情に合わせながら対応していくようにしましょう。

ふるさと納税の仕様変更

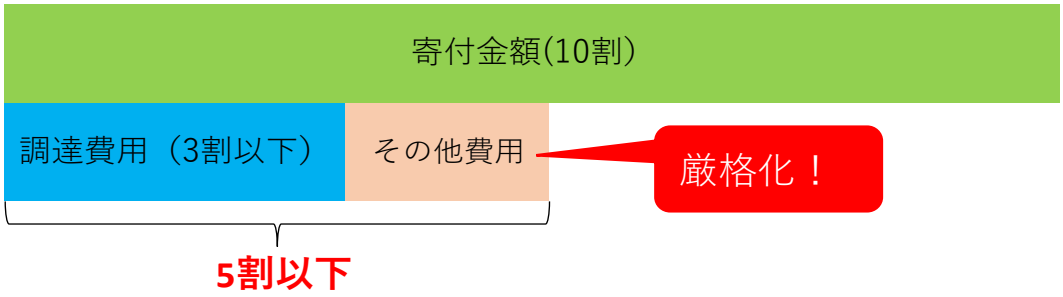
利用者にとっては絶大な人気を誇るふるさと納税。その仕様が 10 月 1 日より変更となります。そもそもふるさと納税とは、応援したい自治体（市区町村等）に寄付をすると、税金の軽減が受けられる制度です。受けられる税額軽減の上限は収入・所得によって異なりますが、上限以下の寄付額であれば、下図のように実質負担は 2,000 円となります。

ふるさと納税の最大の魅力は、寄付先の特産品等をもらえることにあります。つまり、特産品等を実質負担 2,000 円で手に入れることができるため、納税者にとってふるさと納税はありがたいものなのです。

ふるさと納税がどのように変わるのか

正確にいうと、ふるさと納税を募集する側（つまり各自治体）の運用ルールが変わります。以前何の制約もなかった時期は、豪華返礼品を提供していかに寄付してもらうかの競争が過熱したため、2019 年にルールが定められました。そのルールとは、①「返礼品の調達費用は寄付金額の 3 割以下、経費総額は寄付金額の 5 割以下とする」、②「返礼品は地場産品とする」といったものでした。これにより、“高還元”な返礼品は撲滅されました。

【運用ルールのイメージ】



今年の 10 月より、このルールが厳格化されます。上記①経費総額の 5 割以下という基準では、これまで含まれていなかったワンストップ特例制度の事務費用や寄附金受領書の送付費用といった経費を含むことになりました。また、②地場産品の基準についても、熟成肉と精米は同じ都道府県内で生産されたものに限るとされるなど、よりルールが厳格化されたのです。

寄付者への影響は？

ふるさと納税を行う側（寄付者）の視点では、もらえる返礼品に変化が生じると予想されます。経費総額を抑えなければならないため、これまでと同じ額を寄付しても、もらえる返礼品の量が減ってしまう、同じ返礼品をもらうために必要な寄付額が高くなってしまう、または、地場産品の縛りに対応できず返礼品の取扱い自体が終了してしまうものも出てくると思われます。

このルールの変更は 10 月 1 日からですので、駆け込みで 9 月単月の寄付額が大きく伸びるのではないでしょうか。ふるさと納税を行う方は、9 月中にチェックしておくことをおすすめします。

（文章　石島慎二郎）

練馬区の話題のスポット

文章：新妻舞

今年の夏は例年に比べ本当に暑い日々でしたね。私のご近所の練馬区は東京２３区の中でも暑いことで有名ですが、区内に話題のスポットができているので少し紹介したいと思います。

＜駅がハリーポッターの世界に・・・＞

毎日のように利用している西武池袋線池袋駅。時計の針（右の写真）が普通の速さではなく秒針の速さで時針も分針もグルグル動くうえに壁はレンガ調になっているし、さらに自動販売機（左の写真）にもフクロウがいるし、海外の駅みたいになってるなーと思っていました。それがいつの間にか、ハリーポッターに出てくる英国･ロンドンの「キングス・クロス駅」をイメージしたデザインにリニューアルしていたのです。

今年６月１６日、練馬区にある西武池袋線豊島園駅のとしまえん跡地に「ワーナーブラザーススタジオツアー東京メイキング・オブ・ハリー・ポッター」がオープンしたのに合わせたようです。

映画で観たメインキャラクターがラッピングされた電車まで見かけるようになりました。最寄りの豊島園駅もハリーポッターのホグワーツ魔法魔術学校へとつづく「ホグズミード駅」をイメージした駅にリニューアルされています。

オープン当初はテレビなどでもよく特集をされていたかと思いますが、大阪のユニバーサルスタジオジャパンに行かずに東京でハリーポッターの世界観を体験できる施設となっています。

＜練馬区が朝ドラを推してる？！＞

駅を歩いていると、ＮＨＫ連続テレビ小説「らんまん」のチラシやポスターをよく見かけるようになりました。

家族に「最近練馬区が朝ドラを宣伝してて駅とかでよく見かけるんだけど…」と話したところ、「知らないの？朝ドラのモデルの人が練馬区の名誉区民なんだよ！」と言われました。知らなかった…ということで朝ドラを見ていない方にちょっと説明します。

ＮＨＫ2023 年度前期連続テレビ小説「らんまん」は植物学者・牧野富太郎博士の人生をモデルとしたオリジナルストーリーとなっています。そのドラマのモデルとなっている牧野博士が晩年の 30 余年を過ごした私邸跡地が練馬区にあります。

その私邸跡地は現在「牧野記念庭園」として残っています。牧野記念庭園は西武池袋線大泉学園駅下車徒歩７，８分ほどの場所にあります。牧野博士は自邸の庭を「我が植物園」としてこよなく大切にしていたそうです。庭園には、約 300 種類の草木類が生育しており、珍しい種類の植物も数多くあり、学問的にも貴重なものと評されているそうです。

この牧野記念庭園、なんと入園料は無料です。それ程広くはないですが自然の中でのんびりした時間を過ごせる場所です。

＜ジャパンアニメーション発祥の地＞

練馬区は、日本で最初に作られた劇場用カラー長編アニメーション「白蛇伝」（昭和 33 年：東映動画：現東映アニメーション）や 30 分連続テレビアニメ「鉄腕アトム」（昭和 38 年・虫プロダクション）が製作されたジャパンアニメーション発祥の地です。約 100 社のアニメ制作関連会社が区内に所在し、日本有数の集積地となっています。

そんなアニメーション発祥の地･練馬には上記で紹介しました「牧野記念庭園」と同じ西武池袋線大泉学園駅に「東映アニメーションミュージアム」があります。東映アニメーションといえば「ドラゴンボール」「ワンピース」「美少女戦士セーラームーン」に「プリキュア」など皆さん一度はご覧になったことがあるようなアニメを輩出した会社です。

「東映アニメーションミュージアム」にはこれまでに作られた作品の関連資料の展示や映像はもちろんのこと、アニメができるまでの製作過程の解説展示などがあります。ちょっとコンパクトな施設ではありますが、こちらも入館料無料で楽しむことができます。

練馬区は東京 23 区で最後に出来た区ですが、最近ちょっと話題のスポットがあったのでご紹介させていただきました。ご紹介した場所以外にも大泉学園駅の隣の石神井公園駅には石神井公園があります。石神井公園には池や城跡もあり、池ではボートにも乗れます。都内にいながら自然豊かなゆっくりした時間を過ごせる練馬区に訪れてみてはいかがでしょうか。